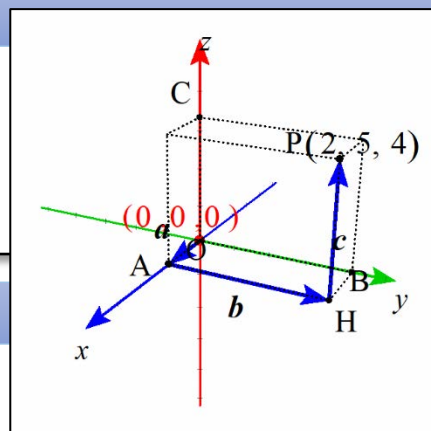


何を使う

機器 PC とそれを提示できるプロジェクター・モニターなど

ソフトウェア (アプリ)

3D-GRAPES



それをどう使う（それで何が出来る）

- 座標空間上に図形を表示し、回転・拡大することができる。
- 変数を設定し、その値を変えることで図形の変化も表すことができる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

○中学 数学（空間図形）○高校数学（空間のベクトルなど、空間図形の分野）

【 Before 】

- 空間図形を書くのは、教員も、生徒も時間がかかる
- 図に表しても、生徒が空間図形をイメージするのが難しい。



【 After 】 メリット

- 空間図形をきれいな図で表示し、動かすことによって、生徒は空間図形へのイメージを持ちやすくなる。
- 教科書には表示されていない空間図形の例や、オリジナルの空間図形も容易に作成することができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉 ○	個 別 ○	協 働
			○	提示装置(プロジェクタ ー・モニターなど)				
授業実施時に必要な環境→					インターネット接続	1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等	数学		
		○	○		活用が想定される場面	提示		